



2020年9月4日

各 位

会 社 名 住友精密工業株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 高橋 秀彰
(コード番号 6355 東証第一部)
問合せ先 常務執行役員 管理部長 石丸 正吾
(TEL 06-6489-5816)

(訂正)「2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2019年7月31日に開示いたしました「2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の理由及び経緯

訂正の理由及び経緯につきましては、別途、本日付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 住友精密工業

コード番号 6355 URL <https://www.spp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 高橋 秀彰

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 石丸 正吾

(TEL)06-6489-5816

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	12,913	25.1	1,342	153.0	1,245	152.0	825	234.0
2019年3月期第1四半期	10,277	8.3	530	—	493	—	247	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 792百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △180百万円(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	156.01	—
2019年3月期第1四半期	46.70	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	83,179	29,251	33.7	5,296.46
2019年3月期	83,678	28,624	32.8	5,188.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 28,027百万円 2019年3月期 27,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	2.50	—	0.00	2.50
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 当社は、剰余金の配当につきましては、中間配当及び期末配当の年2回を基本方針としておりますが、現時点では配当予想額は中間及び期末配当とも未定であります。

2. 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。株式併合後の基準で換算した1株当たり年間配当額は、2019年3月期は25円となります。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,500	32.9	1,150	80.3	1,050	15.2	750	82.2	141.73
通期	53,500	9.2	2,400	0.4	2,400	△3.7	1,700	—	321.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	5,316,779株	2019年3月期	5,316,779株
2020年3月期1Q	24,947株	2019年3月期	24,920株
2020年3月期1Q	5,291,839株	2019年3月期1Q	5,292,510株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、設備投資、輸出、生産において弱さがありますものの、企業収益や雇用・所得環境の改善により緩やかながらも回復基調が続いております。一方、通商問題の動向や地政学リスクなどによる海外経済への懸念等が見受けられ、景気の先行きは依然として不透明な状況下で推移しております。

このような環境下でありまして、当社グループは一体となりまして各分野の受注確保と拡販に努めるとともに、新製品の開発と用途拡大に取り組んでまいりました結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比25.6%増加し、12,913百万円となりました。また、損益につきましては、営業損益は1,342百万円（前年同期比153.0%増）、経常損益は1,245百万円（前年同期比152.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純損益は825百万円（前年同期比234.0%増）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ498百万円減少し、83,179百万円となりました。また、負債合計は、前期末に比べ1,125百万円減少し、53,928百万円となりました。なお、純資産は29,251百万円となり、自己資本比率は前期末に比べ0.9ポイント好転し、33.7%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,110	9,858
受取手形及び売掛金	18,857	17,724
たな卸資産	25,663	26,429
その他	2,490	2,594
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	57,109	56,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,128	8,015
その他（純額）	7,457	7,949
有形固定資産合計	15,585	15,965
無形固定資産		
のれん	532	494
その他	945	905
無形固定資産合計	1,478	1,399
投資その他の資産	9,505	9,220
固定資産合計	26,569	26,584
資産合計	83,678	83,179
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,680	8,652
短期借入金	15,246	15,246
1年内返済予定の長期借入金	4,116	3,764
賞与引当金	1,391	740
工事損失引当金	84	62
防衛装備品関連損失引当金	5,061	5,061
その他	7,622	8,084
流動負債合計	43,203	41,611
固定負債		
長期借入金	6,150	6,150
退職給付に係る負債	5,031	5,043
資産除去債務	136	143
その他	531	979
固定負債合計	11,849	12,316
負債合計	55,053	53,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,311	10,311
資本剰余金	11,332	11,332
利益剰余金	5,984	6,644
自己株式	△102	△102
株主資本合計	27,526	28,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	762	628
為替換算調整勘定	△460	△424
退職給付に係る調整累計額	△372	△362
その他の包括利益累計額合計	△70	△158
非支配株主持分	1,168	1,223
純資産合計	28,624	29,251
負債純資産合計	83,678	83,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	10,277	12,913
売上原価	7,421	9,072
売上総利益	2,856	3,840
販売費及び一般管理費	2,325	2,497
営業利益	530	1,342
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	17
為替差益	19	-
持分法による投資利益	53	80
その他	9	24
営業外収益合計	97	122
営業外費用		
支払利息	53	49
為替差損	-	146
災害による損失	34	-
その他	47	24
営業外費用合計	134	220
経常利益	493	1,245
税金等調整前四半期純利益	493	1,245
法人税等	192	379
四半期純利益	301	865
非支配株主に帰属する四半期純利益	54	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	247	825

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	301	865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△566	△139
為替換算調整勘定	△21	32
退職給付に係る調整額	25	10
持分法適用会社に対する持分相当額	79	23
その他の包括利益合計	△481	△73
四半期包括利益	△180	792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△182	737
非支配株主に係る四半期包括利益	2	55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

影響額が僅少なものにつき、簡便的な方法を採用しております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社においてIFRS16号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他」が464百万円、流動負債の「その他」が170百万円、固定負債の「その他」が466百万円それぞれ増加しております。なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	航空宇宙 関連事業	熱エネルギー・ 環境関連事業	I C T関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,368	1,519	2,389	10,277	—	10,277
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,368	1,519	2,389	10,277	—	10,277
セグメント利益又はセグメン ト損失(△)(営業利益)	174	△150	506	530	—	530

(注) セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	航空宇宙 関連事業	熱エネルギー・ 環境関連事業	I C T関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,901	2,245	3,765	12,913	—	12,913
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	6,901	2,245	3,765	12,913	—	12,913
セグメント利益(営業利益)	480	195	667	1,342	—	1,342

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。